

フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローのチキソトロピー特性を活用した楔状欠損の修復方法

2007年に超高齢社会(65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%以上)となった日本において、歯肉退縮によるセメント質露出を原因とする楔状欠損に遭遇する機会が増えていることは、多くの先生が実感されていることと思う。楔状欠損への修復はフロアブルコンポジットレジンを用いて行うことが主流となっているが、各社より発売されている製品は症例によって使い分けられるようフローの異なるものがラインアップされていることが多い。

スリーエム ジャパンのフロアブルコンポジットレジン、フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローは、独特のチキソトロピー(注)を有することにより、ローフロー、ミディアムフローの用途に使用することが可能である。

この特徴を活用した楔状欠損の修復方法をここでは紹介したい。

歯肉退縮を伴う楔状欠損は修復面積が大きい場合、通常フロアブルコンポジットレジンを使用し、1回で築盛しようとした場合その流動性によって垂れてしまい、形態を整えることが難しい。このような場合は2回法をお勧めする。

1回目の築盛において欠損部の凹凸を平面化することにより、2回目の築盛や整形を容易にする。

まず1回目だが、凹凸の面に対し、デッドスペースを作らない為にミディアムフロー状が望ましい。フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローを歯面に塗布した直後は垂れないが、探針で軽く攪拌すると流動性が増してくるので修復部を覆うように広げていく。1秒間光照射し、仮重合をしておくことで形態が維持できる。(図a)

2回目は最終形態をイメージして築盛を行う。築盛後、全体を攪拌するのではなく表面を探針でなぞるようにすると表面のみ流動性が増し、歯面と移行的になる。中心はローフロー状のため、形態を維持してくれる。この手法だと後に形態修正をする必要が殆ど無い。(図b)

また、歯肉マージン部のオーバーフィリングは絶対に避けなければならない。歯肉溝保護のため圧排コードは必ず使用する。研磨はソフレックス™ XT研磨ディスク Mにて表面を平滑化した後、ソフレックス™ スパイラル 研磨ホイール F、SFで仕上げることで光沢が得られる。審美的回復を希望している患者さんは実際より明るめの色を好むことがある。本症例も最初A4を薦めたが本人の希望によりA3とした。

このようにフィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローはその仕上がりの美しさと治療時間の短縮や患者の負担軽減にも有効である。



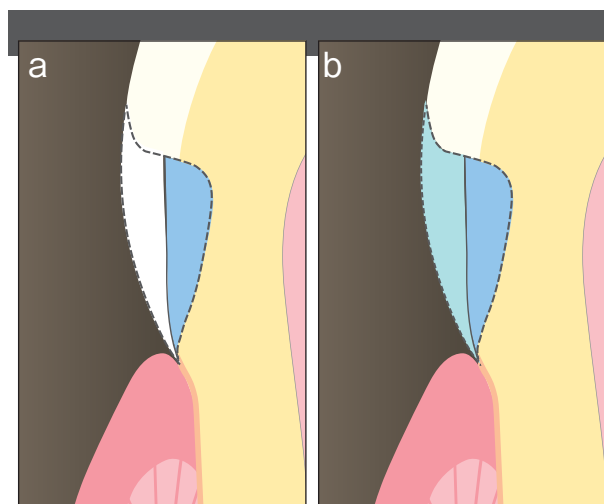
東京都開業
高橋 純一 先生

1985年 東京都歯科大学卒業
2004年 高橋デンタルオフィス開設
日本歯周病学会認定 歯周病専門医
日本臨床歯周病学会 認定医
日本歯科審美学会 認定医



フィルテック™ シュープリーム
ウルトラ フロー コンポジットレジン

「サクッと流れ、キレがよく、ピタッと留まる」優れた操作性。
これ1本で、I級、IV級、V級窩洞、楔状欠損やポーセレン等の破折修理など幅広い症例に対応できる。



楔状欠損積層充填の図解

一層目(青色部分)は、表面張力を得やすくするためできるだけ平面を作るように充填する(a)。

二層目(緑色部分)は、歯肉側のマージンを移行的にし、歯冠側はわずかにオーバーさせるように充填する(b)。

(注)
チキソトロピーとは、かき混ぜることによって粘度が低下する性質。
フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローはこの性質により、1本でミディアムフロー、ローフロー双方の使い分けが可能で、歯質に適合しやすく、垂れにくいという操作性の高さを有する。





1 術前

歯肉退縮によるセメント質露出を原因とする楔状欠損。患者はブラッシング時の痛みと知覚過敏を訴えている他、審美的回復も希望した。



2 圧排

歯肉圧排コード(#000)にて圧排を行う。



3 アドヒーズ処理

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズを塗布する。このアドヒーズは各種被着体への接着が得られることから多用途に使用できる。



4 光照射

20秒放置後、エアブロー、光照射10秒間行う。楔状欠損部の溝にボンディング液が溜まらないように十分にエアブロー処理をする。



5 フロアブルレジン充填【1層目】

フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローをシリンジから直接塗布する。垂れないで現状を維持できる。(ローフロー性状)



6 レジンの平面化

探針で軽くなじませると流動的となる(ミディアムフロー性状)。まんべんなく広げ、なるべく平面状にする。仮重合すると次のステップが容易になる。



7 フロアブルレジン充填【2層目】

フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローの2回目の塗布を行う。必要に応じて量を調整する。



8 形態を整える

表面を探針で軽くなぞるようにして延ばし、形態を整える。立体的な築盛が可能のため、後で形態修正の必要が殆どない。



9 光照射

光照射にて最終重合を行う。



10 形態修正

エクストラ・ファインバーにて歯肉マージン部を移行的にすることと、仕上げの形態修正を行う。



11 仕上げ

ソフレックス™ XT研磨ディスク Mにてレジンと歯面の境界を移行的にするとともに表面を平滑にする。



12 研磨

ソフレックス™ スパイラル 研磨ホイール Fで荒研磨を行う。この段階でレジンの未重合層を十分に除去する。



13 つや出し

ソフレックス™ スパイラル 研磨ホイール SFで最終研磨(つや出し)を行う。ホイールはゴム製で歯面に追従しやすく、歯肉も傷つけない。



14 術後

術後。フィルテック™ シュープリーム ウルトラ フローはナノクラスターフィラーを採用しているため、研磨も容易で滑沢も長続きする。

販売名:フィルテック シュープリーム ウルトラ フロー コンポジットレジン 認証番号:222AKBZX00110000 販売名:スコッチボンド ユニバーサル アドヒーズ 認証番号:224AKBZX00054000
販売名:ソフレックス 届出番号:13B1X10109000198 3M, ESPE, フィルテック, スコッチボンド, ソフレックスは3M社またはその関連会社の商標です。



詳しい情報は... **Let's Access!**

3M 歯科用製品ホームページ

3M 歯科

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

検索

当事業部取扱製品のお問い合わせは

3M ESPE コールセンター

0120-332-329

※受付時間/9:00~17:00 月~金(土・日・祝を除く)

※フリーダイヤルが繋がらない場合は、03-6409-3157をご利用ください。

スリーエム ジャパン株式会社

ヘルスケアカンパニー

歯科用製品事業部

Please Recycle. Printed in Japan.
Copyright © 2015 3M. All Rights Reserved.
DEN-1227-AJ (071510) PN/HE